

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	地下鉄七隈線中間駅(仮称)	階数	地上2F、地下4F
建設地	福岡県福岡市博多区祇園町	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	7地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2020年1月20日
敷地面積	101 m <sup>2</sup>	作成者	児島
建築面積	294 m <sup>2</sup>	確認日	2020年2月17日
延床面積	4,667 m <sup>2</sup>	確認者	三谷

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 2.0** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%  
②建築物の取組み 65%  
③上記+②以外の 65%  
④上記+ 65%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 4.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.9

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	地下鉄利用者の快適性に配慮するとともに、地中熱や太陽光などの自然エネルギーの利用や、照明の調光制御システムの採用等により環境負荷の低減に配慮した。	その他 特になし
Q1 室内環境	F☆☆☆☆建材の採用や、全館禁煙等による環境向上に努め、利用者の快適性に配慮した。照明制御に関しては、点滅制御をリモコン化し一元管理を行うとともに、タイマー・センサー類を用いて調光制御を行うことで省エネに配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) はかた駅前通りの景観に調和するよう配慮した。
LR1 エネルギー	自然エネルギーを利用するとともに、照明、コンセント、空調動力各種設備の消費電力量モニタリングが可能となる計画としている。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を設置せず大気汚染防止に配慮した。
Q2 サービス性能	非常発電設備、受電設備の二重化、無停電電源装置の設置等により電気設備の信頼性向上を図っている。	
LR2 資源・マテリアル	節水器具等を採用し水資源に配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される